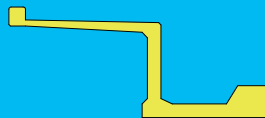


# APRON II



(プレキャスト製張出歩道)

ASUZAC

L型擁壁

擁壁

張出工法

カルバークラス

コンクリート管

マンホール

側溝

L形側溝石

水路

砂河

防川

貯留システム

景観石材

信州リサイクル  
コンクリート製法

付

録

現況の道路に歩道を設置する場合、大がかりな道路拡幅工事が必要になりますが、アプロン II は、歩道の設置スペースが無い道路や側面に水路がある場所でも、空間を有効利用して安全歩道が設置出来ます。しかも、壁高、底版長が可変タイプのため、現場状況に応じた製品形状で設計出来ます。基礎コンクリート以外に、生コンを打設する必要が無く、従来工法に比べ大幅な工期短縮を可能にしました。歩道部はノンスリップ紋様付きで歩行者の安全を確保しています。



## 特長

### 1. 安定した構造

・現場で打設した基礎コンクリートから突出させたアンカーボルトと製品を連結することで、縦・横方向を一体化させた構造です。また、プレキャスト基礎を使用することで完全なドライ工法も可能です。

### 2. 優れた安全性

・基礎コンクリートと底版上の土重が転倒・滑動に対して抵抗することで安定します。  
・歩道部は、円型滑り止め模様でスリップ防止を図ることができます。

### 3. 排水性の向上

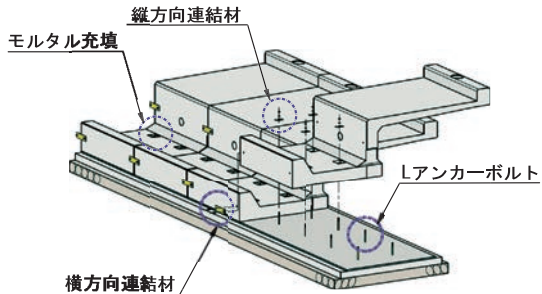
・歩道部の2.0%勾配、側壁の水抜穴・目地穴により排水性がよく、側壁背面に水が溜まり難くなっています。

### 4. 工期の短縮・コストの削減

・基礎コンクリート以外のコンクリート打設がないため施工が早く、コスト削減に繋がります。また、製品据付け後、すぐに埋め戻すことができるため早期の道路開放が可能です。

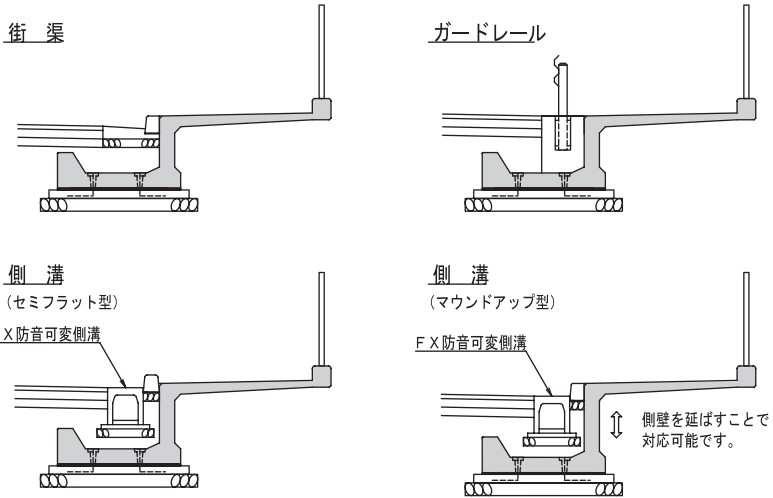
### 5. 多様性

・製品形状がシンプルなため、カーブ対応や端部調整が可能です。  
・底版や側壁寸法を変換ことができ、現場条件に合わせて柔軟に対応することができます。  
・片持式支持構造であるため、歩道部背面には側溝やガードレール等の設置が可能です。



※ 設計につきましては設計上確認しなければならない事項・構造計算が必要となりますので最寄りの営業所の営業担当にご連絡を下さい。

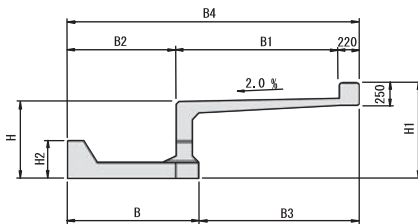
参考断面図



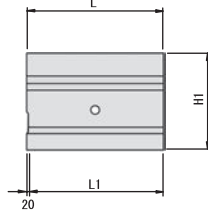
規格

標準規格

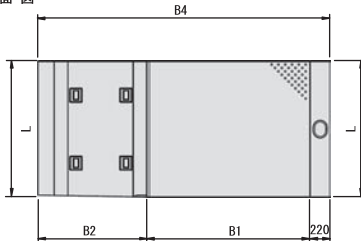
側面図



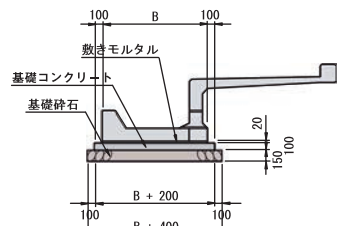
正面図



平面図



基礎図



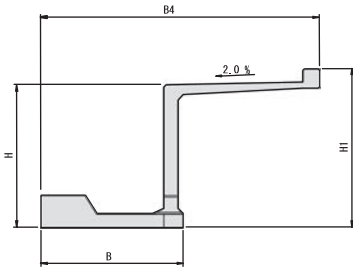
標準規格表

呼称	B	H	L	B1	B2	B3	B4	H1	H2	L1	参考重量
10 - 20	850	700	1996	800	650	820	1670	886	270	1976	1593kg
15 - 20	1150	750	1996	1300	900	1270	2420	946	320	1976	2346kg
20 - 15	1450	850	1496	1800	1200	1770	3220	1056	420	1476	2505kg
25 - 15	1750	900	1496	2300	1400	2170	3920	1116	470	1476	3286kg
30 - 15	2050	1000	1496	2800	1700	2670	4720	1226	570	1476	4361kg

L型擁壁  
擁壁  
張出し法  
カルバート  
パイコン付管  
マンホール  
側溝  
L形側溝石  
水路  
砂河  
防川  
貯留システム  
景観石材  
付録

## 壁高・底版長可変対応表

### 対応規格



### 対応規格表

呼称		B	H	B4	H1
10 - 20	Min	850	700	1670	886
	Max	1250	1700	2070	1886
15 - 20	Min	1150	750	2420	946
	Max	1550	1750	2820	1946
20 - 15	Min	1450	850	3220	1056
	Max	1850	1850	3620	2056
25 - 15	Min	1750	900	3920	1116
	Max	2150	1900	4320	2116
30 - 15	Min	2050	1000	4720	1226
	Max	2450	2000	5120	2226

Min~Maxの寸法の間で10cmピッチで対応致します。

## 施工方法

### 1 荷降ろし・反転

製品の荷降ろし・反転は専用吊り具にて行う。専用吊り具は製品の側壁にある排水穴を使用し、吊り上げる。



### 2 アンカーボルトの設置

設計図書に従って、基礎コンクリート中に鉄筋を組み立て、鉄筋にはアンカーボルトを結束して配置する。アンカーボルトの配置は、製品を据付けた時に、製品の底版にある開口にアンカーボルトが通るように配置する。



### 3 敷きモルタル

基礎コンクリートの硬化後、敷きモルタルを20mm~30mm程度行う。



### 4 据付け

製品の据付けは、Dリフトアンカーもしくは専用吊り具で行い、製品の底版にある開口へアンカーボルトを通すように据付ける。



### 5 縦・横方向の連結

製品の据付け後、吊り具を外す前に製品底版と基礎コンクリートをプレートで連結（縦方向連結）し、また、製品どうしをプレートで連結（横方向連結）する。



縦方向連結

横方向連結

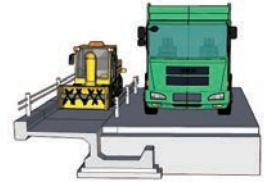
### 6 施工完了

底版の開口をモルタルで塞ぎ、排水穴と排水目地に吸出防止材を配置して埋め戻します。



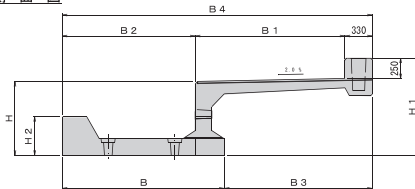
# 積雪地対応タイプ

歩道部荷重は15KN/m<sup>2</sup>です。  
積雪深4mでも対応可能です。また総車体重量 6.5t程度の除雪車に対応しています。

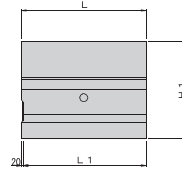


## 標準規格

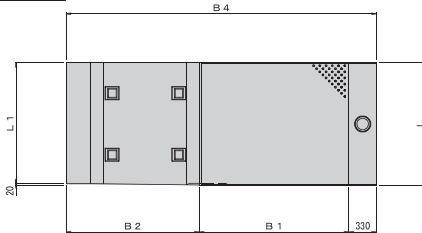
側面図



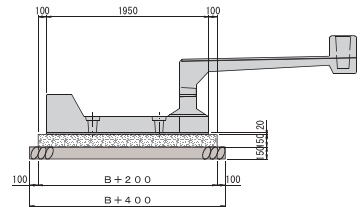
正面図



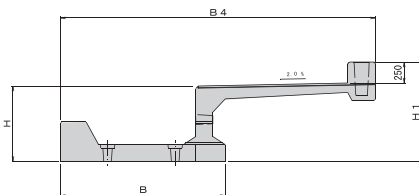
平面図



## 基礎図



## 対応規格



対応規格表

呼称		B	H	B4	H1
20-15	Min	1,950	900	3,730	1,186
	Max	2,350	1,900	4,130	1,686
25-15	Min	2,160	900	4,430	1,296
	Max	2,560	1,900	4,830	1,796

L型擁壁  
擁壁

張出し法

カルバートス  
パイコン付管  
マンホール

側溝

L形側溝石

水路

砂河

防川

貯留システム

景観石材

信州サイクル  
パイコン製法

付

録